



【研究主題】

生涯にわたって、自らの健康の保持・増進に対する関心を高め、  
意欲的に体力づくりに取り組む生徒の育成

～教科体育の取組を中核とした、諸教育活動及び家庭・地域との連携を図る実践～

仮説1

生徒の体力の実態を的確に把握しながら、「体力向上プログラム」を生かした授業モデルを作成して実践すれば、意欲的に体力づくりに取り組む生徒が育成され、体力向上につながるであろう。

仮説2

教科体育の取組と、道徳・特別活動・部活動を中心とした教育活動及び家庭・地域との連携を充実させる取組を実践すれば、生涯にわたって自らの健康の保持・増進に対する関心が高まるとともに、体力向上への意欲も高まるであろう。

教科体育における取組

- ・ 亀津中体操の考案
- ・ 業間体育
- ・ 一校一運動

教育活動における取組

- ・ 道徳、学活の指導充実
- ・ ストレスマネジメント
- ・ 部活動合同トレーニング

保健指導における取組

- ・ 朝食の摂取についての取組
- ・ 歩育についての取組
- ・ 生活習慣チェック
- ・ 家庭教育学級でのストレッチ講座

調査・分析の取組

- ・ 新体力テストの分析
- ・ 各種アンケートの分析

保護者・外部人材との連携

研究授業



分科会



全体会Ⅰ（開会行事）



全体会Ⅱ（指導講話）



体育（第一学年）

道徳（第二学年）

学活（第三学年）



【公開研究会に参加された先生方より】

- 保健体育にとどまらず、他教科との関連もさせているところがすばらしいと思った。
- 生徒が、授業の流れをよく理解して、スムーズに取り組んでいた。生徒同士が話し合う場面が多く、共に学ぶ姿が見られた。
- 合理的な授業展開で、十分な運動量があり、体力向上にふさわしいものだった。ICTの活用の仕方が参考になった。
- 生徒の表情がとても明るく素晴らしい授業だった。ワークシートの生徒の意見を称賛し、自信を持って発表させているのがとても印象的だった。
- クラスの雰囲気もよく、生徒同士の助け合いの様子も見られ、とても良かった。相談のロールプレイ中での話の聞き方や、相談の受け方などが参考になった。